

2022年度年次総会前の常務理事会・理事会 拡大理事会 (2022.06.11)

時間	プログラム
13:00 - 13:50	<p>== 常務理事会・理事会 拡大理事会 ==</p> <p>(常務理事) 伊藤 眞 (理事長)、縣 公一郎 (副理事長)、浅田和茂 (副理事長) 西川伸一 (副理事長)、伏木信次、広渡清吾、居城邦治、西土彰一郎、岡林 洋、坂越正樹、櫻田嘉章、須田利美、高橋宗五、高橋輝暁、高山佳奈子、武内謙治、種村眞幸、鏑田武志、和田 肇、山本敬三</p> <p>(理事) 細野 眞、笠井 修、小澤 守、中沢大悟、山上浩志、事務局 (関)</p> <p style="text-align: right;">合計 26名</p> <p>① 2021年度の活動報告 (資料1) ② 2022年度の活動方針 (資料2) ③ 2021年度の決算報告・監査報告 (資料3-1, 3-2) ④ 2022年度の予算案 (資料4) ⑤ 2022年度日独共同研究奨学金 (採択結果等) について (資料5) ⑥ 奨学金基金と安定化基金の会計状況について (資料6) ⑦ 支部活動について (拡大理事会でのみ報告) (資料7) ⑧ その他: 年会費未納者について (資料8)</p>
ここから会員参加の年次総会プログラム開始	
14:00 - 14:50 (参加申込 56人)	<p>== 日本フンボルト協会 2022年度会員総会 ==</p> <p>理事長挨拶</p> <p>① 2021年度の活動報告 (資料1) ② 2022年度の活動方針 (資料2) ③ 2021年度の決算報告・監査報告 (資料3-1, 3-2) ④ 2022年度の予算案 (資料4) ⑤ 2022年度日独共同研究奨学金 (採択結果等) について (資料5) ⑥ 奨学金基金と安定化基金の会計状況について (資料6) ⑦ その他</p>
15:00 - 16:00 (参加申し込み 76人)	== 講演会 ==

(16:00 プログラム終了予定)

主催: 日本フンボルト協会

2021 年度活動報告

2022.06.11

1. 2021 年度年次総会について

- ・2021 年度総会を、Zoom によるオンライン総会というかたちで開催した。
常務理事会・理事会合同理事会（12 時～12 時 50 分）の後、会員総会（13 時～13 時 50 分）が行われた。終了後、Lepe1 駐日大使（当時）の講演が行われ、参加者は 84 名であった。Lepe1 前大使の講演については YouTube に録画を掲載中 (<https://youtu.be/7ybXlnG3pes>)。)

2. 協会運営の諸会議について

- ・常務理事会を 2021 年 6 月 12 日（土）、8 月 28 日（土）、12 月 18 日（土）、2022 年 3 月 26 日（土）に、何れも Zoom 会議で実施した。

3. ドイツ研究留学説明会の開催

- ・コロナ禍の状況のもと、ドイツ・フンボルト財団の研究奨学生選考は通常通り行われていることから、2022 年 1 月 8 日（土）、日本フンボルト協会主催のドイツ研究留学説明会が Zoom 形式で開催され、90 名の参加者があった。当日は、全体説明および各領域の分科会、またオンライン形式による利点を生かし、ドイツ滞在の研究者による現地の研究状況など有益な情報が寄せられ、活発な情報交換がなされた。なお、全体説明会のビデオ視聴の希望が寄せられ、この件については検討する。

4. 日独学術情報発信について

- ・日本フンボルト協会主催・共催の Zoom 討論会を以下の要領で開催し、ドイツ在住の講演者を含め、毎回多くの参加者があり、活発な意見交換がなされた。

- ◎ 京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター主宰、
ドイツ・フンボルト財団、日本フンボルト協会後援
日時：2021 年 10 月 23 日（土）14 時 30 分～18 時 参加者 60 名

日独公法学セミナー「新型コロナ対策の日独喫比較」

登壇者：高橋大作 氏（在オーストリア日本大使館）
横田明美 氏（千葉大学）、山田哲史会員（岡山大学）

- ◎ Covid-19 シリーズ第 4 回 日本フンボルト協会主催
日時：2021 年 11 月 28 日（日）14 時～17 時 参加者 29 人

法学シンポジウム「コロナと人権」 (YouTube に掲載 https://youtu.be/66VM_Yx807o)

登壇者：毛利 透会員（京都大学）、高田倫子会員（大阪市立大学）
内田博文 氏（九州大学名誉教授）

- ◎ Covid-19 シリーズ第 5 回 日本フンボルト協会主催
日時：2022 年 1 月 29 日（土）14 時～16 時 30 分 参加者 50 人

「日本の Covid-19 対応の問題点—医学と疫学行政の観点から—」

(YouTube に掲載 <https://youtu.be/hsUaxeFMP3Y>)
登壇者：児玉龍彦 氏（東京大学先端研 がん・代謝プロジェクトリーダー）
末松 誠 氏（慶応大学医学部教授・日本医療研究開発機構初代理事長）

- ◎ Covid-19 シリーズ第 6 回 日本フンボルト協会主催
日時：2022 年 4 月 16 日（土）14 時～16 時 参加者：74 名

「文化の危機への応答 —3つの時代〈大戦、東西、コロナ〉のなかに聴く芸術の声—」

(YouTube に掲載 <https://youtu.be/Ca0EFNMxyG4>)
登壇者：岡田暁生 氏（京都大学）、貫 成人会員（専修大学）

5. 支部活動について

- ・新型コロナウイルス感染が全国的に拡大する中、各支部活動も中断を余儀なくされているが、各支部ともリモート形式で幹事会、総会、Zoomによる講演会などを精力的に開催し、支部活動の活性化に努めた。以下がZoomで開催された講演会です。

○北海道支部 2022年3月24日(木) 17:00~18:00

『ドイツで過ごした博士課程~2021年ノーベル化学賞受賞研究室からの風景』

講師: 辻 信弥 氏 (北海道大学 化学反応創成研究拠点)

○東北支部 2021年11月6日(土) 14:30 - 15:30

『ここまでわかったパーキンソン病—診療・研究の最前線』

講師: 長谷川隆文会員 (東北大学 大学院医学系研究科)

○関東甲信越支部 2022年3月19日(土) 14:00~15:30

『ナチス絵画をめぐる』 (YouTubeに掲載 <https://youtu.be/WMos42e-RnE>)

講師: 前田 良三会員 (立教大学名誉教授)

○中部支部 2022年3月12日(土) 10:00~12:00

『ゲオルク・イエリネックと三人の日本人留学生: 美濃部達吉・上杉慎吉・吉野作造
にとってのハイデルベルク』 (YouTubeに掲載 <https://youtu.be/rigmMRpxf6s>)

講師: 今野 元会員 (愛知県立大学)

○関西支部 2022年3月6日(日) 15:00~16:00

『肺がん治療の最前線』

講師: 井上匡美会員 (京都府立大学呼吸器外科)

○九州支部 2022年1月28日(金) 18:00~18:45

『日本家族法の特徴——フランス、ドイツとの比較から』

講師: 遠藤 歩 会員 (九州大学 大学院法学研究院)

6. 第3回日独共同研究奨学金

- ・2021年度の日独共同研究奨学金への応募6件(理系4件、文系2件)について、選考委員会で厳正・公平に審査し、下記の2件の助成候補研究(理系1件、文系1件)が、常務理事会(同奨学金実施委員会)に提案され承認された。その後、2021年度年次総会で報告された。

1) 課題: 『宇宙X線望遠鏡 eROSITA と XRISM による銀河団ガスと活動銀河核の相互作用の研究』

助成対象者: Angie Veronica, MSc in Astrophysics, PhD Doktorandin an dem Argelander-Institut für Astronomie, Universität Bonn
(申請者: 太田 直美会員 (奈良女子大学理学部、宇宙物理学))

2) 課題: 『後期青銅器時代~鉄器時代(紀元前1500~600年頃)のテル・レヘシュの石製品研究 — イスラエル北部の石製品産業の文脈に照らして』

助成対象者: Andrea Squitieri, Wissenschaftlicher Mitarbeiter,
Ludwig-Maximilian Universität München, Historisches Seminar
(申請者: 長谷川 修一会員 (立教大学文学部、西アジア考古学))

- ・2022年度、第4回日独共同研究奨学金の募集を実施し、4件(理系3件、文系1件)の申請があり、選考委員会で審査が行われた。

7. 協会の財政安定化に向けた方策

- ・フンボルト財団からのデータに基づき、シーボルト賞など、日独学術交流に関する各賞受賞者にも、本協会への入会を促した結果、28名が会員登録を行った。

8. 「日本フンボルト協会ニューズレター」(Nr.9 2021年9月)を刊行した。

以上

2022 年度活動方針

2022.06.11

1. 2023 年度年次総会について

- ・対面方式での開催を検討していくが、コロナ禍の収束など諸般の状況を注視し、開催時期、開催場所等については、引き続き常務理事会で検討していく。

2. 留学説明会について

- ・ドイツ・フンボルト財団による奨学金審査が通常通り行われており、本協会としてもドイツ留学説明会を、2022 年秋頃を目途に行う。
- ・2023 年度年次総会が対面式で実施可能である場合には、従来通り、総会当日に開催することも視野に入れて検討する。

3. 学術情報発信について

- ・日本フンボルト協会による日独学術情報発信の一環として、本協会主催の講演会や討論会などを、オンラインで開催することも念頭に置き積極的に行っていく。
- ・2022 年 9 月 17 日（土）に Covid-19 シリーズ第 7 回『Globalism、Nationalism そして Localism』をオンラインで開催予定。
- ・日本フンボルト協会主催の講演会や討論会についての情報を、要請に応じて、他のアルムニクラブや学会などに提供し、フンボルト協会の活動に関する発信に努める。

4. 支部活動について

- ・新型コロナの収束状況を注視しながら、DAAD 友の会と連携した企画を検討するなど支部活動の一層の活性化を進める体制を、協会本部としてもサポートしながら構築していく

5. 協会会員について

- ・日本フンボルト協会の会員数を増やすための方策のひとつとして、昨年度に引き続き、シーボルト賞など、日独学術交流に関する各賞受賞者に賛助会員としての入会を要請するなど、新会員の獲得を図る。

6. 協会財政安定化について

- ・会費未納会員に対する対応策を引き続き検討すると同時に、各方面に本協会活動への理解と支援を求めていく。

7. 第 5 回日独共同研究奨学金制度

- ・広く本奨学金制度を周知することにより、申請数の増加に努めると同時に、優秀なプロジェクトへの同奨学金制度によるドイツ研究者との共同研究の助成を推進する。

8. Humboldt-Kolloquim について

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2022 年 11 月にオンライン方式で開催されることになった Humboldt-Kolloquim について、本協会としても、フンボルト財団を引き続き支援していく。

以上

日本フンボルト協会 2021年度予算・決算 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(収入の部)				
	項 目	2021年度予算	2021年度決算	
1	年会費	2,400,000	2,576,000	644口 (2020年度9口、2021年度622口、2022年度13口)
2	利息	10	17	普通預金利子
3	寄付	0	0	
4	フンボルト財団支援金	0	0	
5	総会懇親会参加費	0	0	
6	収入小計	2,400,010	2,576,017	
7	前年度繰越金	1,655,601	1,655,601	
8	収入計	4,055,611	4,231,618	
(支出の部)				
	項 目	2021年度予算	2021年度決算	
9	総会・説明会等開催費	100,000	0	
10	支部運営助成費	500,000	434,000	関東甲信越支部(200,000)、関西支部(200,000)、中部支部(14,000)、北海道支部(20,000)
11	会合費	20,000	5,960	
12	通信費	200,000	279,879	会費請求・ニューズレターの送付等、会員への発送、電話使用料(友の会と折半) 17,829
13	印刷・複写費	120,000	109,623	会報印刷など
14	事務所施設利用費	50,000	43,758	(以下DAAD友の会と折半) 電気代12,758、事務所清掃代27,500、ゴミ処理代3,500
15	事務用品費	50,000	104,041	うちZoom設定費25,795、マカフィー更新4,573、事務用品費73,673円
16	事務局人件費	1,400,000	1,381,382	事務局員への謝金、発送の手伝い要員の費用、交通費
17	振込手数料等	2,000	5,397	銀行振込手数料
18	予備費	100,000	80,000	Zoomオンライン講演会の謝金4人分
19	支出小計	2,542,000	2,444,040	
20	次年度繰越	1,513,611	1,787,578	
21	支出計	4,055,611	4,231,618	

(備考)

① 日本フンボルト協会寄附口座 預金額 770,803円
② 2011年度アルムニ賞賞金25,000ユーロ=2,764,326円(利子を含む)は、ホームページと留学支援サイトの構築のためにあてられた。現在、残額が205,419円である。フンボルト財団の了承を得て、残額は、「ホームページ管理特別基金」の下におき、ホームページの維持管理のために使用する。
③ 会費納入会員数の推移 (2015) 797 / (2016) 698 / (2017) 635 / (2018) 632 / (2019) 615 / (2020) 574 / (2021) 626 / (2022) 14

2021年度監査報告書

日本フンボルト協会

理事長 伊藤 眞 殿

私は、日本フンボルト協会の監事として会則の定めるところに基づき、
本会の2021年4月1日より2022年3月31日に至る期間の会務
の執行および会計収支の状況につき監査を行いました。

監査の結果、上記の期間において会務が適切に執行されており、また関係
するすべての書類が収支と財産の状況を適正に示していることを確認
いたしました。

以上、ご報告いたします。

2022年 4 月 25 日

監事 芳賀 雅顯



監事 吉川 泰弘



日本フンボルト協会 2022年度予算案 (2022年4月1日～2023年3月31日) 2022年6月11日現在					
(収入の部)					
	項目	2021年度決算	2021年後決算の項目	2022年度の項目	2022年度予算
1	年会費	2,576,000	644口	年会費	2,400,000
2	利息	17	普通預金利子	利息	20
3	寄付	0		寄付	1,000,000
4	フンボルト財団支援金	0		フンボルト財団支援金	0
5	総会懇親会参加費	0		総会懇親会参加費	0
6	収入小計	2,576,017		収入小計	3,400,020
7	前年度繰越金	1,655,601		前年度繰越金	1,787,578
8	収入計	4,231,618		収入計	5,187,598
(支出の部)					
	項目	2021年度決算	2021年度使用明細	2022年度の項目	2022年度予算
9	総会・説明会等開催費	0		総会・説明会等開催費	100,000
10	支部運営助成費	434,000	関東甲信越支部(200,000)、関西支部(200,000)、中部支部(14,000)、北海道支部(20,000)	支部運営助成費	570,000
11	会合費	5,960		会合費	20,000
12				シンポジウム、講演会等謝礼(新)	200,000
13	通信費	279,879	会費請求・ニューズレターの送付等、会員への発送、電話使用料(友の会と折半)17,829	通信費	350,000
14	印刷・複写費	109,623	会報印刷など	印刷・複写費	120,000
15	事務所施設利用費	43,758	(以下DAAD友の会と折半) 電気代12,758、事務所清掃代27,500、ゴミ処理代3,500	事務所施設利用費	50,000
16	事務用品費	104,041	うちZoom設定費25,795、マカフィー更新4,573、事務用品費73,673円	事務経費(名称変更)	100,000
17	事務局人件費	1,381,382	事務局員への謝金、発送の手伝い要員の費用、交通費	事務局人件費	1,400,000
18	振込手数料等	5,397	銀行振込手数料	振込手数料等	5,000
19	予備費	80,000	講演会の謝金4人分	予備費	100,000
20				寄付金払い出し(新) (4月14日に寄附口座に振替済)	1,000,000
21	支出小計	2,444,040		支出小計	4,015,000
22	次年度繰越	1,787,578		次年度繰越	1,172,598
23	支出計	4,231,618		支出計	5,187,598
(備考)					
① 日本フンボルト協会寄附口座 預金額 1,770,803円 (2022年6月11日現在)					
② 2011年度アルムニ賞賞金25,000ユーロ=2,764,326円(利子を含む)は、ホームページと留学支援サイトの構築のためにあてられた。現在、残額が205,419円である。フンボルト財団の了承を得て、残額は、「ホームページ管理特別基金」の下におき、ホームページの維持管理のために使用する。					
③ 会費納入会員数の推移 (2015) 797 / (2016) 698 / (2017) 635 / (2018) 632 / (2019) 615 / (2020) 574 / (2021) 626 / (2022) 確認中					

2022 年度日独共同研究奨学金採択結果 (案)

(2022.06.11)

1. 課 題 : 『完全既約性、幾何学的不変式論、ビルディングの理論 :
代数群の統一的な理解に向けて』

Vollständige Zerlegbarkeit, geometrische Invariantentheorie
und Theorie sphärischer Gebäude: ein allgemeiner Ansatz zur Darstellung
algebraischer Gruppen

助成対象者 : Falk Bannuscher, PhD (2021.10, Ruhr University Bochum)

申 請 者 : 内山 智博 会員 (創価大学国際教養学部准教授、数学 (代数学))

2. 課 題 : 『ハプト藻類の日本発形質転換技術による
炭酸カルシウム結晶細胞殻形成の分子機構の解明』

Kompetenzerwerb in Bezug auf die in Japan entwickelte genetische
Transformation von Haptophyten zur Aufklärung des molekularen Mechanismus
der CaCO_3 -Biomineralisation bei kalzifizierenden Haptophyten

助成対象者 : Ekta Kumari (PhD, Postdoc, Fakultät Biologie, Technische Universität
Dresden, Biomineralisation)

申 請 者 : 白岩 善博 会員 (筑波大学名誉教授、植物代謝生理学)

日独共同研究奨学金基金及び協会財政安定化基金の経過

(2022年06月11日現在)

《日独共同奨学金基金 口座》

収 入		支 出	
会員からの寄付 (2019年9月30日まで)	5,540,000円	2019年度2件分奨学金支給	1,000,000円
会員からの寄付 (2019年10月以降)	145,000円	印刷、事務用品(2019年度)	10,815円
外部の個人・企業からの寄付	4,840,000円	送金手数料	29,908円
利 息 (2020年8月まで)	113円	2020年度2件分奨学金支給	1,000,000円
利息(2021. 02. 22)	39円	印刷、事務用品(2020年度)	9,946円
利息(2021. 08. 23)	36円	送金手数料	880円
利息(2022. 02. 21)	33円	2021年度2件分奨学金支給	1,000,000円
		送金手数料	550円
		残 高	7,473,122円
合 計	10,525,221円	合 計	10,525,221円

《財政安定化基金 口座》

収 入	
会員からの寄付 (2019年9月30日まで)	2,000,000円
会員からの寄付 (2019年10月以降)	29,000円
利 息 (2020年8月まで)	15円
利息(2021. 02. 22)	9円
利息(2021. 08. 23)	9円
利息(2022. 02. 21)	9円
合 計	2,029,042円

(備考)

1. 寄付金振込手数料は、当初、日本フンボルト協会会計（予備費）から補填した。
寄付期間終了後に、奨学金基金から振込手数料を支出し、日本フンボルト協会（予備費）に返金した。
2. 2019年10月1日以降(募金締切以降) 会員から振り込まれた174,000円は、奨学金基金と財政安定化基金に、5：1の割合で、それぞれ145,000円と29,000円を振り分けた。（2020年4月4日の常務理事会で承認）

2022年5月29日

日本フンボルト協会
理事長 伊藤 眞 殿

北海道支部長 居城邦治



2021年度日本フンボルト協会北海道支部 活動報告

2020年度の支部幹事会決議に基づき、以下の通り、支部としての活動を行った。

記

- 1) 2022年3月24日(木) 17:00から、オンラインにより日本フンボルト協会北海道支部講演会を開催した。講師は北海道大学化学反応創成研究拠点の辻信弥特任助教である。辻氏はフンボルティアーナではないが、2021年ノーベル化学賞を受賞した独マックスプランク石炭研究所のB.リスト教授の研究室で博士号を取得したドイツ留学経験者であり、「ドイツで過ごした博士課程～2021年ノーベル化学賞受賞研究室からの風景」と題して1時間程度の講演を行った。講演後の質疑応答では、研究内容の他、ドイツでの生活などについて質問が出ていた。参加者は18名であった。
- 2) 2022年3月24日(木)の講演会後に引き続き、北海道支部総会を開催した。支部長が日本フンボルト協会の2021年度の活動を報告した。その後、今後の支部活動が議論され、2022年度は支部総会、講演会、ドイツ留学説明会を開催することが承認された。参加者は6名であった。

以上

11
(東北支部)

2022年5月31日

2021年度・日本フンボルト協会東北支部活動報告

日本フンボルト協会東北支部長

須田 利美 (東北大学・電子光理学研究センター長)

2021年度の東北支部の活動を報告いたします。コロナ感染拡大に伴う活動自粛のため、長らく支部総会を含め東北支部としての活動ができない状態でしたが、今年度は Zoom を利用しオンライン東北支部総会並びに長谷川隆文先生による記念講演会を開催いたしました。

支部総会の参加者は10名でした。長谷川先生の記念講演は、オンライン開催の特徴を活かし全国のフンボルト会員へアナウンスを行い参加していただきました。33名の方の参加者がありました。

【開催日時】

2021年11月6日 (土) 13:30～

【開催方法】

Zoom によるオンライン開催

【次第】

第1部 支部総会 (13:30～14:15)

- 1 開会挨拶 須田 利美 支部長 (東北大学電子光理学研究センター・教授)
- 2 支部の活動について
- 3 その他

第2部 記念講演 (14:30～15:30)

「ここまでわかったパーキンソン病—診療・研究の最前線」

長谷川 隆文 理事 (東北大学大学院医学系研究科 副科長・准教授)

日本フンボルト協会関東甲信越支部**2021 年度事業報告**

- 2021 年 6 月 12 日---協会年次総会において、荒木稚子会員と田口正樹会員を新しい幹事に迎えることのご承認をいただく
- 2022 年 2 月 4 日---メール会議方式による幹事会により、総会を 3 月 19 日に開催することを決定。講演会開催と講演者についても決定。
- 2022 年 2 月 6 日---メールまたは郵便にて会員に 2021 年度総会・講演会についての案内を発信・発送
- 2022 年 2 月 12 日---関東甲信越支部のウェブサイトの公開 (<https://hgj-kanto.com/>)
- 2022 年 3 月 19 日 (土) ---総会を開催。参加者 36 名。総会に引き続き、前田良三会員 (立教大学名誉教授) に「ナチス絵画をめぐる」と題する講演をしていただいた。その後、講演を 60 分ほどのビデオとして YouTube においてて限定公開中である (<https://youtu.be/ssRLPrnbac>)。

2022 年度事業計画

- ウェブサイトの内容を更新・充実させる (ドイツ関連のエッセイや講演会のビデオの公開等)
- 年に 2 回程度のオンライン講演会の開催を計画する
- 留学説明会の開催を計画する
- 連絡代表者をハブとする大学および研究機関同士のネットワークの構築を目指す
- 会費納入の促進を図る
- 2022 年度総会および講演会の開催を計画する

(常務理事・関東甲信越支部長：井田 良 中央大学法科大学院教授)

日本フンボルト協会
理事長 伊藤 眞 様

(中部支部)

2022年5月27日

日本フンボルト協会中部支部長 和田 肇 印

2021年度活動報告、2022年度活動計画 中部支部

日本フンボルト協会中部支部の活動について、その活動費として本部予算からの助成金（2022年度分）を申請いたしますので、よろしくご検討の程お願い申し上げます。

支部活動について：

当支部はこれまで以下の様な目標を掲げて活動いたしております。（この計画は今後も継続いたします）

1. 会員相互の親睦をはかる。
2. フンボルト志願者およびフンボルト留学生のため便宜をはかり援助をする。
3. フンボルト財団、在日ドイツ公館、ドイツ文化研究所等と連絡し、互に情報を交換する。
4. 中部日本とドイツ間の学術研究者の交流促進に協力する。とくに中部日本におけるドイツ人研究者の調査、研究、文化活動などに極力便宜をはかる。
5. その他

2021年度の活動報告

1) 2021 年度支部幹事会

日時：2021年12月28日（火）20時～、web開催

1. 中部支部の新規会員について
2. 中部支部総会の日程と講師について
3. その他

2) 2021 年度中部支部 総会、講演会

日時、会場：2022年3月12日（土）、web開催

○講演会 10：00～11：15（出席者：29名）

演者：今野 元氏（愛知県立大学外国語学部教授）（2021年度シーポルト賞受賞）

題目：「ゲオルク・イエリネックと三人の日本人留学生：

美濃部達吉・上杉慎吉・吉野作造にとってのハイデルベルク」

○総会 11：30～12：00（出席：会員8名 + オブザーバー1名）

1. 活動報告・計画（本部、支部）
2. 会計報告・予算
3. その他（現在のドイツ事情、支部役員の今後のあり方について、他）

2022年度の活動計画

2022年度の活動計画は以下の通りですが、何れも検討中で、新型コロナウイルスの状況を見ながら判断いたします。

3) 2022 年度支部幹事会

日時：9月頃

実施方法：オンライン

4. 中部支部総会の日程、実施方法、講師について
 5. 中部支部での留学説明会の開催について
 6. その他
- 4) 2022年度中部支部総会、懇話会、懇親会
日時、実施方法：検討中（可能なら11月に開催したい）

2022年度の本部助成金の使途予定は以下の通りです。

懇話会講師謝礼 10,000円

通信・印刷費（葉書代、印刷費）6,000円

計 20,000円

以上、合計20,000円の助成金をお願いいたします。

但し、本部関連の会議が対面で行われる場合には、旅費として補助金の増額をお願いしなければなりません。今回の申請書の作成について、旅費分も含めて申請すべきかどうかご教示ください。

(関西支部)

(1) 日本フンボルト協会関西支部シンポジウム

2021年5月20日(日) 14:00より、下記のシンポジウムをZOOMによるリモート開催した。

日時：2021年5月30日(日) 14:00～ ZOOMによるリモート開催

タイトル：「法の社会史的研究の一側面：村上淳一(1933-2017)のニクラス・ルーマン(1928-1998)の法理論受容を中心に」

進行役 高山佳奈子理事

スピーカー(3名)

講演 守矢健一理事

コメント 高橋義人理事

コメント 酒井麻千子氏(東京大学大学院 情報学環・学際情報学府准教授)

意義

当会に多大な貢献をされた村上淳一・東大名誉教授の没後3年が経過しました。その研究は、単なる社会規範一般から法規範を明確に区別する視点に立ち、かなり早い時期からドイツの社会学理論家ニクラス・ルーマンに着目してその理論を批判的に摂取するものでした。コロナ禍において、政治的決定と責任のあいまい化や、同調圧力が起こっている現在、本企画は社会と法との関係を改めて考える機会となるでしょう。

(2) 日本フンボルト協会関西支部理事会

2021年10月28日18:00より対面参加者とZOOMによるリモート参加者で開催した。

日時：2021年10月28日(木) 18:00～

方法：関西支部事務局(対面)とZoomでのリモート

<議事>

- 1) 2021年度の関西支部総会の計画と講演会の内容
- 2) 関西支部活動と運営について
 - ・新しい理事、評議員の推薦
 - ・今後親睦以外に、関西支部として進めたい活動について
 - ・それぞれの活動を中心となって推進していただく担当者の決定
 - ・今後の執行部の若返り
- 3) 留学支援と各大学責任者の確認について

(3) 第9回日本フンボルト協会関西支部理事会・評議員会・講演会

日時：2022年3月6日(日) 14:00～

方法：Zoomミーティングを利用したオンライン

関西支部理事会・評議員会合同会議 14:00～15:00

<議事>

- 1) 関西支部新しい理事、評議員の選考
- 2) 2021年度会計経過報告、2022年度予算案
- 3) 関西支部留学説明会について
- 4) 2021年度活動報告他

講演会 15:00～

講演題：「肺がん治療の最前線」

講演者：井上匡美会員（京都府立医科大学呼吸器外科教授）

司会：伏木信次会員（京都府立医科大学研究質管理センター長/特任教授、名誉教授、京都中部総合医療センター総長）

<2022年3月6日の拡大理事会、評議委員会で推薦され承認された関西支部新理事、評議員は以下の通りです。>
また現理事、評議員については、そのまま継続でお願いします。（敬称略）

新理事 京都府立医科大学呼吸器外科 井上匡美

新評議員	京都府立医科大学 大学院医学研究科免疫内科学	藤井 渉
	関西大学 外国語学部	柏木 貴久子
	京都大学 人間・環境学研究科共生人間学専攻	安部 浩
	同志社大学 生命医科学部医工学科	小泉 範子
	大阪大学 大学院理学研究科高分子化学	金子 文俊
	大阪大学 理学研究科物理学専攻素粒子理論グループ	兼村 晋哉
	滋賀県立大学 環境科学部生物資源管理学科	原田 英美子
	関西学院大学 文学部文学言語学科	宮下 博之

《2021年度日本フンボルト協会関西支部会計報告》

(2021年4月1日～2022年3月31日)

単位:円

収 入		支 出	
前期繰越金	32,369	総会費	0
2021年度日本フンボルト協会運営助成金	200,000	通信費 (84円×47名)	3,948
受取利息	0	ホームページ更新費	0
		事務費 (作業・管理代、コピー代)	50,792
		次年度繰越金	177,629
合 計	232,369	合 計	232,369

日本フンボルト協会関西支部長

西川 伸一

中国四国支部(会員 96名)

(2021年度活動報告)

- 支部会員のネットワークを構築し交流の契機となるよう「支部通信」を作成し、メール等で配信した。メールアドレス不記載、セキュリティチェックにより送信できなかった会員には、事務局の協力を得て郵送した。
- ドイツ留学説明会への協力
オンラインドイツ研究留学説明会について関係大学、会員に広報し、関心のある若手研究者に参加を呼び掛けた。数人の会員から協力の返信があり、関係大学機関内で広報した。

(2022年度活動計画)

- 支部会員のネットワークを構築し交流の契機となるよう「支部通信」2号を作成し、メール等で配信する。支部会員2人のエッセイを掲載の予定。
- 前年度に引き続きドイツ留学説明会に協力するとともに、支部地区内での日独学術文化交流に資する活動を支援する。

(常務理事・支部長 坂越正樹 広島文化学園大学・短期大学学長)

令和4年3月31日

九州フンボルト会活動報告

1. 2020年度総会、講演会を以下の通り開催した。

日時：2022年1月28日（金）18:00～19:30

Zoomによるリモート開催

参加者：12名

講演会：遠藤歩教授（九州大学 大学院法学研究院）

テーマ：「日本家族法の特徴ーフランス、ドイツとの比較から」

今年度の講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモート開催とし、会員間の懇親会も行わなかった。

2. 来季役員（任期2年：2022年4月1日～2024年3月31日）を次の通り決定した。

会長 武内 謙治

副会長 河野 俊行

副会長 遠藤 歩

理事 木佐 茂男

理事 野田 龍一

理事 金子 昌信

理事 梶原 晃

理事 土井 和重（DAAD）

監査 赤松 秀岳

監査 五十君 麻里子

フンボルト会九州支部活動予定

2022年度は、次の活動を予定している。

- ・2022年度総会および講演会を開催する（2022年秋から冬）。
- ・総会および講演の開催方式は、新型感染症の感染状況を見て、決定する。2021年度と同様にオンラインによるリモート開催とすることも検討する。
- ・例年行ってきた会員間の懇親会も、新型感染症の感染状況を見て、状況が許せば、実施を検討する。

九州支部長 武内謙治

年会費未納者一覧（支部別） 2022年5月25日現在

	名誉会員	一度も 支払ってない	2021年度の支払い	合計会員数	支払い率
北海道	1	12	18	47	0.38
東北	1	20	28	55	0.51
関東	19	205	254	627	0.41
中部	0	42	51	120	0.43
関西	1	130	186	373	0.5
中四国	0	30	55	94	0.59
九州	0	31	30	91	0.33
外国	0	0	4	12	0.33
Total	22	470	626	1419	0.44

2021年度だけの支払いは626人で44 %となる